

Rio Firmware 主なアップデート内容

V5.10

V5.10 で修正した不具合

- 軽微な不具合を修正しました。

V5.10 の改善点

- 一部部品の生産終了に伴う Dante モジュールのハードウェア変更への対応をしました。

既知の不具合

- NY64-D カード経由で TF シリーズと Dante Controller でパッチすると、TF シリーズのディスプレイに「Dante Version Mismatch」というワーニングメッセージが数秒間表示される場合があります。ただし、音声の通信や HA コントロールは問題なく行なえます。

お知らせ

- 1 台の Rio/Ri/Ro は、R Remote が動作している最大 6 台のコンピューターからリモートコントロールできます。また別途 4 台の CL/QL/RIVAGE PM10/PM7 からリモートコントロールできます。
- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。
- ディップスイッチの REMOTE 設定を NATIVE と AD8HR で切り替えると、デバイラベルが初期値になり、パッチもクリアされます。
- CL/QL シリーズでは、以下のデバイラベルは SUPPORTED DEVICE として認識するために使用します。
 - Y###-*****
 - # は 0 ~ 9、A ~ F (大文字) の 16 進数 3 桁 (000 ~ FFF)
 - * は任意の文字 (英字(大文字または小文字)、数字、- (ハイフン)が使用可)
 - Y### を含めて 31 文字までです。

- Y###-で示される UNIT ID が R シリーズ間で重複しないようにしてください(###は UNIT ID 番号)。CL/QL シリーズの CONSOLE ID 番号は R シリーズの UNIT ID 番号と重複して使用できません。

V4.50

V4.50 の新機能

- Dante Domain Manager に対応しました。
- RIVAGE PM10/PM7 からのリモートコントロールに対応しました。
RIVAGE PM10/PM7 は V2.02 以降を使用してください。

既知の不具合

- NY64-D カード経由で TF シリーズと Dante Controller でパッチすると、TF シリーズのディスプレイに「Dante Version Mismatch」というワーニングメッセージが数秒間表示される場合があります。ただし、音声の通信や HA コントロールは問題なく行なえます。

お知らせ

- 1 台の Rio/Ri/Ro は、R Remote が動作している最大 2 台のコンピューターからリモートコントロールできます。また、別途 4 台の CL/QL/RIVAGE PM10/PM7 からリモートコントロールできます。
- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。
- ディップスイッチの REMOTE 設定を NATIVE と AD8HR で切り替えると、デバイスラベルが初期値になり、パッチもクリアされます。
- CL/QL シリーズでは、以下のデバイスラベルは SUPPORTED DEVICE として認識するために使用します。

Y###-*****

は 0 ~ 9、A ~ F (大文字) の 16 進数 3 桁 (000 ~ FFF)

* は任意の文字 (英字(大文字または小文字)、数字、-(ハイフン)が使用可)

Y### を含めて 31 文字までです。

Y###-で示される UNIT ID が R シリーズ間で重複しないようにしてください(###は UNITID 番号)。

CL/QL シリーズの CONSOLE ID 番号は R シリーズの UNIT ID 番号と重複して使用できません。

V4.10

- 1 台の Rio/Ri/Ro は、R Remote が動作している最大 2 台のコンピューターからリモートコントロールできます。また別途 4 台の CL/QL からリモートコントロールできます。

新機能

- オーディオネットワークの相互接続規格「AES67」に対応しました。
- Dante Device Lock に対応しました。

改善点

- 本体ディップスイッチの設定と実際の Dante の設定が異なっている場合に[SYSTEM]インジケータで表示するエラーステータスを追加しました。
- ディップスイッチ 2/3(IP Address Mode)を DHCP モードに設定した場合に、DHCP サーバーが見つかるまで IP アドレスが決定されないよう変更しました。
DHCP サーバーがない環境で IP アドレスを自動設定したい場合は、Auto IP モードに設定してください。

V3.11

新機能

- TF シリーズから NY64-D 経由での HA リモートに対応しました。TF シリーズのファームウェアは、V2.00 以上にアップデートしてください。

改善点

- 各チャンネルの+48V がオンなのに+48V MASTER がオフの場合、インジケータが点滅する仕様に変更しました。

修正した不具合

- DHCP サーバーを使用したシステムにおいて、R Remote からリモートコントロールできないことがある不具合を修正しました。
ただし、DHCP サーバーが 1 分以上遅れて起動するとリモートコントロールできないことがあります。その場合は、R シリーズの電源を入れ直してください。

V3.00

新機能

- CL/QL シリーズファームウェア V3.00 に対応しました。

- R Remote V2 に対応しました。

改善点

- REFRESH モードで起動して R Remote だけをつないだときに、橙色の[SYNC]インジケータは消灯し、緑色の[SYNC]インジケータを点灯するようにしました。

修正した不具合

- まれに DANTE モジュールを動作不良と判定して、フロントパネルの全インジケータが点滅する不具合を修正しました。
- R シリーズ 16 台以上と Dante-MY16-AUD が同じ DANTE ネットワークにいるときや、4 台のコンソールから 3 台以上の R シリーズをすべて相互マウントしているときに、"No Response from I/O DEVICE."や"No Response from External HA."が表示される不具合を修正しました。

既知の不具合

- Dante Controller で CL/QL に DVS(Dante Virtual Soundcard)をパッチしている状態で CL/QL を再起動してもパッチが再現されないことがあります。その場合は Dante Controller で DVS を再度パッチしてください。なお、Windows 版の 3.2.0 より前の DVS では、41CH 以降のパッチが CL/QL からできません。
- 取扱説明書では REFRESH モードで Dante Patch がクリアされると記載されていますが、REFRESH モードで Dante Patch はクリアされません。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。
- ディップスイッチの REMOTE 設定を NATIVE と AD8HR で切り替えると、デバイスラベルが初期値になり、パッチもクリアされます。
- CL/QL シリーズでは、以下のデバイスラベルは SUPPORTED DEVICE として認識するために使用します。

Y###-*****

は 0 ~ 9、A ~ F (大文字) の 16 進数 3 桁 (000 ~ FFF)

* は任意の文字 (英字(大文字または小文字)、数字、- (ハイフン)が使用可)

Y### を含めて 31 文字までです。

Y###-で示される UNIT ID が R シリーズ間で重複しないようにしてください(###は UNIT ID 番号)。

CL/QL シリーズの CONSOLE ID 番号は R シリーズの UNIT ID 番号と重複して使用できます。

V2.00

新機能

- CL シリーズファームウェア V2.03 に対応しました。
- QL シリーズファームウェア V1.07 に対応しました。
- リモートコントロール用の IP アドレス設定として、IP SELECT MODE 機能をディップスイッチ 2 と 3 に割り当てました。設定は「AUTO IP(従来の設定)」「DHCP」「STATIC IP(192.168.0."UNIT ID")」の 3 種類です。R REMOTE を使う場合は「AUTO IP」にしてください。
- Dante のレイテンシー 2.0msec に対応しました。

修正した不具合

- ディップスイッチ 4 で Dante SECONDARY PORT 設定を切り替えても、設定が切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- R シリーズの本体ファームウェアのアップデートが失敗することがある不具合を修正しました。アップデートするときは必ず新しい updateV2.exe を使用してください。

既知の不具合

- Dante Controller で CL/QL に DVS(Dante Virtual Soundcard)をパッチしている状態で CL/QL を再起動してもパッチが再現されないことがあります。その場合は Dante Controller で DVS を再度パッチしてください。なお、Windows 版の 3.2.0 より前の DVS では、41CH 以降のパッチが CL/QL からできません。
* アップデートする場合は、「[「Rio3224-D/Rio1608-D アップデートガイド」](#)にしたがってアップデートしてください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。
- ディップスイッチの REMOTE 設定を NATIVE と AD8HR で切り替えると、デバイスラベルが初期値になり、パッチもクリアされます。
- CL/QL シリーズでは、以下のデバイスラベルは SUPPORTED DEVICE として認識するために使用しません。

Y###-*****

は 0 ~ 9、A ~ F (大文字) の 16 進数 3 桁 (000 ~ FFF)

* は任意の文字 (英字(大文字または小文字)、数字、-(ハイフン)が使用可)

Y#### を含めて 31 文字までです。

Y####-で示される UNIT ID がRシリーズ間で重複しないようにしてください(####は UNIT ID 番号)。

CL/QL シリーズの CONSOLE ID 番号はRシリーズの UNIT ID 番号と重複して使用できます。

*V1.70 からアップデートする場合は、DANTE 部のファームウェアをアップデートする必要がありません。MAIN 部のファームウェア(本体ファームウェア)をアップデートするためには、「Rio3224-D/Rio1608-D ファームウェアアップデートガイド」の「Rio 本体のファームウェアのアップデート」の作業を実施してください。V1.70 以外のバージョンからアップデートする場合は、「Rio3224-D/Rio1608-D ファームウェアアップデートガイド」にしたがってアップデートしてください。

V1.70

新機能

- CL シリーズファームウェア V1.70 に対応しました。

修正した不具合

- 瞬間停電で電源が切れている時間によってアナログゲイン値が変わったり、HA のリモート操作ができなくなることがある不具合を修正しました。

既知の不具合

- Dante Controller で CL に DVS(Dante Virtual Soundcard)をパッチしている状態で CL を再起動してもパッチが再現されないことがあります。その場合は Dante Controller で DVS を再度パッチしてください。なお、Windows 版の 3.2.0 より前の DVS では、41CH 以降のパッチが CL からできません。

*アップデートする場合は、「[Rio3224-D/Rio1608-D アップデートガイド](#)」にしたがってアップデートしてください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。
- ディップスイッチの REMOTE 設定を NATIVE と AD8HR で切り替えると、デバイスラベルが初期値になり、パッチもクリアされます。

- CLシリーズでは、以下のデバイラベルは SUPPORTED DEVICE として認識するために使用します。

Y###-*****

は 0 ~ 9、A ~ F(大文字) の 16 進数 3 桁(000 ~ FFF)

* は任意の文字(英字(大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン) が使用可)

Y を含めて 31 文字まで対応しています。

Y###-で示される ID が大きさの違うRシリーズ間で重複しないようにしてください。CLシリーズは R シリーズと同じ ID を使用できます (###は UNIT ID の値が入ります) 。

V1.61

新機能

- CLシリーズで検出/パッチできる Dante 機器として、Shure ULX-D デジタルワイヤレスシステムとヤマハ XMV8280-D/XMV8140-D を追加しました。
ULX-D を本機能に対応しているバージョンにアップデートしてください。詳細は Shure のウェブサイトでご確認ください。
- CLシリーズおよび Ro-8D を除く R シリーズの機器の状態や Dante の状態を CL シリーズで確認できるようになりました。
- R シリーズの状態をコンソールから確認するには、DANTE SETUP で REMOTE HA にアサインしている必要があります。

改善点

- USB 端子に過電流が発生したため USB 機器が切断されても、再起動しないで USB 機器が再接続できるようになりました。
- CLシリーズや R シリーズのアナログ入力端子に接続した機器(コンデンサーマイクやダイレクトボックス)にファンタム電源(+48V)を供給している CL シリーズからゲインを調節した場合、機器によっては、HA 内部の PAD がオン/オフされるポイント(+17dB と+18dB の間)でノイズが発生することがある問題を改善しました。
- SCENE RECALL 時などにおける HA の応答時間を改善しました。

修正した不具合

- V1.60 で発生していた、長時間経過後に、CLシリーズや Dante-MY16-AUD から R シリーズの HA ゲインの一部がコントロールできなくなる不具合を修正しました。V1.60 は Web サイトから取り下げました。

- V1.60 以前で、まれに CL シリーズの Dante 経由の音声 が 15 秒程度途切れることがある不具合を修正しました。
- 日付と時刻の設定に TOUCH AND TURN 機能を用いた場合、反映されない不具合を修正しました。
- CUE の SPECIFIC CH を USER DEFINED キーに割り当てた場合、キーを押しても USER DEFINED キーの LED が点灯しない不具合を修正しました。
- FADE TIME を設定したシーンをリコールした際に、StageMix(iPad アプリ)の動作が遅くなる不具合を修正しました。

既知の不具合

- Dante Controller で CL に DVS(Dante Virtual Soundcard)をパッチしている状態で CL を再起動してもパッチが再現されないことがあります。その場合は Dante Controller で DVS を再度パッチしてください。なお、Windows 版の 3.2.0 より前の DVS では、41CH 以降のパッチが CL からできません。

*V1.15 以降のバージョンからアップデートする場合は、MAIN 部のファームウェアだけをアップデートしてください。MAIN 部のファームウェアをアップデートするためには、「[Rio3224-D/Rio1608-D アップデートガイド](#)」の「Rio 本体のファームウェアのアップデート」の作業を実施してください。V1.14 以前のバージョンからアップデートする場合は、「[Rio3224-D/Rio1608-D アップデートガイド](#)」にしたがってアップデートしてください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.60

[重要なお知らせ]

ファームウェア V1.60 で、長時間経過後に、R シリーズの HA ゲインの一部がコントロールできなくなる不具合が確認されました。(Dante-MY16-AUD で R シリーズをご使用の場合も同様となります)

ファームウェア V1.61 でこの重大な不具合を修正いたしましたので、CL/R シリーズともに V1.61 をご使用くださいますようお願いいたします。

Rio1608-D/3224-D Firmware V1.50

改善点

- 特定のネットワークスイッチによって、電源をオンにしたときに 100Mbps でリンクしてしまう問題に対処しました。

修正した不具合

- Rio1608-D を AD8HR モードにして CL シリーズの EXTERNAL HA フィールドに表示させると、+48V Master が 2 台分ではなく 4 台分表示させてしまう不具合を修正しました。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

Rio1608-D/3224-D Firmware V1.15

修正された不具合

下記の不具合を修正しました。

- Dante 機器のデバイスラベルを 6 文字未満に設定すると、CL で認識できなくなる。
- Dante Controller でチャンネルラベルを編集したときに、機器のネットワークモジュールの修理対応が必要となる場合がある。
- CL の電源立ち上げ時や、Dante ネットワークのワードクロック切り替え時に、音声が出ない場合がある。

Rio Firmware V1.14

修正した不具合

- 大規模な Dante ネットワークシステムでデバイスの発見やパッチの復元に時間がかかる問題を改善しました。

Rio1608-D/3224-D Firmware V1.11

新機能/仕様変更

- Nuendo Live に対応しました。
- GPI 機能が追加されました。

- DANTE SETUP 画面が変更されました。
- オーディオネットワーク内で I/O ラックが新たに認識されたときやオーディオネットワークから外れたときに、ポップアップメッセージを表示するようになりました。
- 同時使用できる機器数の上限は下記のとおりとなりました。
 - オーディオネットワーク内に CL は 4 台、I/O ラックは 32 台まで
 - 1 台の CL で HA リモートができる I/O ラックは 8 台まで
 - 1 台の CL にパッチできる I/O ラックやそのほかの Dante 機器は 24 台まで 既知の不具合

修正した不具合

- ごくまれにパネルがフリーズする不具合を修正しました。
- シーンメモリーをリコールしたときにゲインコンペンセーションの設定が食い違う不具合を修正しました。
- CL を Rio より先に起動すると、CL が Rio を認識しないことがある不具合を修正しました。
- Dante-MY16-AUD が Slave to External Word Clock に設定されている場合、起動時に Sync LED が緑色点灯にならない不具合を修正しました。
- CL の Dante 端子に Rio などの Dante 機器が接続されていない場合、ミュート状態になって音声がなくなる不具合を修正しました。
- CL の Dante 端子に Rio などの Dante 機器が接続されていない場合、ミュート状態になって音声がなくなる不具合を修正しました。
- CL が二台以上ある環境での I/O RACK OUTPUT PATCH の以下の不具合を修正しました。 - ファイルをロードするときに WITH DANTE SETUP AND I/O RACK ボタンをオンにしてロードしてもパッチが再現されないことがある。
- Dante-MY16-AUD を使用している場合、再起動したときに CL と Dante-MY16-AUD のパッチの再現に数分かかることがある不具合を修正しました。
- Dante Controller で CL に DVS(Dante Virtual Soundcard)をパッチしても、DANTE INPUT PATCH の LIBRARY にストア/リコールできない不具合を修正しました。
- CL と Rio が Dante オーディオネットワークでつながっているときに Dante Controller で Preset ファイルをロードしてパッチを変更すると、パッチの変更が完了しないことがある不具合を改善しました。
- CL と Rio が Dante オーディオネットワークでつながっているときにワードクロックまたはオーディオビットレートを変更すると、Rio がミュート状態になって音声がなくなる不具合を改善しました。

Rio1608-D/3224-D Firmware V1.02

初期リリースバージョン(プリインストール版)